

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	コンサルテーション論 Nursing Consultation		担当 教員	安藤幸子 (専任) 新田和子 (非常勤) 小山富美子 (非常勤) 北村愛子 (非常勤) 若狭紅子 (非常勤)	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 基盤看護学	授業形態	講義
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室	
授業の目的及びねらい							
医療・看護の現場で看護職を含む関係者が職務遂行上出会う問題を、自ら解決していけるように、看護学の立場から支援する方法を教授する。							
授業のキーワード							
コンサルテーション、コンサルタント、専門看護師							
講義回数	授業内容及び計画						
第1回	コンサルテーションの概念						
第2回	コンサルテーションのタイプとモデル						
第3回	内部コンサルタントと外部コンサルタントの特徴						
第4回	コンサルタントの役割						
第5回	コンサルテーションの段階						
第8～9回	リエゾン精神専門看護師によるコンサルテーションの実際 (新田)						
第10～11回	癌看護専門看護師によるコンサルテーションの実際 (小山)						
第12～13回	急性・重症患者看護専門看護師によるコンサルテーションの実際 (北村)						
第14～15回	事例を用いたコンサルテーションの演習 (若狭)						
テキスト	なし						
参考文献	授業中に提示します。						
成績評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッションへの参加状況 (80%)、課題レポート (20%)						
教員から学生へのメッセージ	この授業はオムニバス形式で行います。 現在専門看護師として活躍している実践家の方からもコンサルテーションの実際について教授していただき、より理論と実践が結びつくようにすすめていきたいと思っております。						